

教材名 「手品師」 内容項目：主として自分自身に関すること—正直、誠実（光村図書6年 p.120 東京書籍6年 p.102 教育出版6年 p.28 光文図書5年 p.168 学校図書5年 p.48 学研みらい5年 p.72 日本文教出版6年 p.64 広済堂あかつき6年 p.28 ）

1. 本教材について

▼問題は、自己実現か自己犠牲かの二者択一を迫ったり、「手品師の素晴らしいところはどこでしょうか」（教育出版）などと手品師の選択を「明るく生きる」に結びつけて賞賛し、悩むことや他の選択は入り込む余地がない進め方が提示されていることである。

▼指導要領にも、悩みや葛藤などを大事にしていくことや、答えが一つではない課題を一人ひとりの児童が自分自身の問題と捉え、議論していくことの重要性を考えれば、いろいろな解決方法を議論していくことで、多面的・多角的に考え、自分の生き方についての考えを深められる学習ができるのではないだろうか。

2. 本教材を扱う際に、特に注意すべきだと考えたこと

▼手品師ができる行動は他にないか、友人の取れる行動はなかったかなど、結論ありきではなく、可能性のある行動を考える中で、悩み葛藤していく気持ちを共有していけるようにしたい。しかし、最後まで読んでしまうと、誰の目にもこの結果が優先されてしまうので、途中までのプリントを用意して進めてはどうだろうか。

▼しかし、最後まで読んだ後に、例えば30年後の手品師は、どうなっているのだろうかと考えも別の方法として良いだろう。

3. 指導過程

	子どもの活動や教師の発問等	留意点
導入	<p>☆「手品師」を読み、どんな話かを確認する</p> <p>○ 登場人物の確認をする。 手品師- 男の子 仲の良い友人</p>	<p>・「手品師は迷いに迷っていました。」までのプリントを用意しておく。</p>
展開	<p>☆この後、手品師はどんな行動をとるか予想しよう。</p> <p>○手品師はこの後、どんな行動をとるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子をステージに招待する。</li> <li>・ステージは手品師にとって大切だから、ステージを選ぶ。</li> <li>・約束を守り、男の子に会いに行く。</li> <li>・携帯電話で連絡先を交換する</li> <li>・他の考え</li> </ul> <p>○その行動の中から一つを選び、何故かを考える。 吹き出しにして、心の声を表してみる。</p>	<p>・考えられる行動をみんなで考え発表していく。</p> <p>・予想の中からいくつかの選択肢を用意し、手を挙げてもらい。その理由も発表してもらおう。</p>

ま と め	☆学習をふりかえろう。 ○クラスの中で出てきた解決策がいろいろあることを知る。	・自分とは違う解決策に気づかせたい。
-------------	--	--------------------